

災害に **強い** まちづくり



撮影：藤岡義久さん

津波に耐え、力強く立つ“奇跡の一本松”（陸前高田市）

■ プログラム

■ 13:30 開会（開場 13:00）

■ 13:40 講演・報告1 『釜石市復興支援で見えてきた災害復興におけるプランニング課題』

講師：間野 博 氏（県立広島大学 保健福祉学部 教授）

■ 14:45 休憩（10分）

■ 14:55 講演・報告2 『災害に強いまちづくり～阪神・淡路大震災の教訓から～』

講師：高井 広行 氏（近畿大学 工学部 教授）

■ 16:00 意見交換

■ 16:40 閉会

■ 日にちと場所

平成24年 **3月10日（土）**

広島県情報プラザ / 第1研修室

（住所：広島市中区千田町三丁目7-47……※ 概略の位置図は裏面を参照）



参加申込先

※)参加希望の方は **3月7日(水)まで** に、お名前、所属、連絡先をお知らせ下さい。

長谷山 弘志（株荒谷建設コンサルタント内）

（裏面に『参加申込票』があります）

TEL：(082)292-5486 FAX：(082)296-5481

E-mail：hiroshi.haseyama@aratani.co.jp

■ 主催：日本都市計画学会 中国四国支部

■ 共催：日本建築学会中国支部、都市住宅学会中国・四国支部、
日本福祉のまちづくり学会中国四国支部

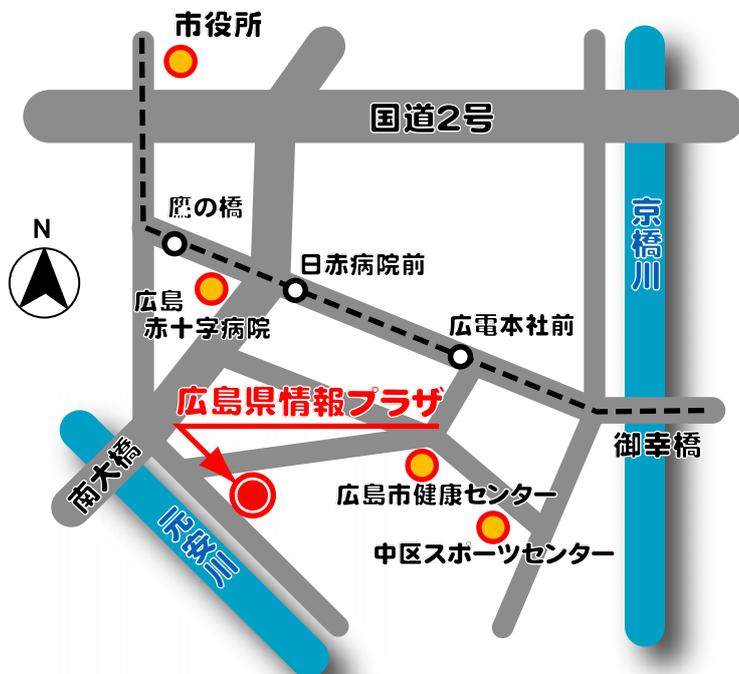
がんばろう東北！がんばろう日本！

開催趣旨

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、これまで多くの先人の努力により整えられてきた生活の基盤である「まち」が一瞬にして失われるという未曾有の災害となりました。刻々と送られてくる画像にショックを受けるとともに、都市計画の無力さを痛感された方も多かったのではないのでしょうか。震災・津波被害に加え、原発事故という重大な被害を抱え、震災発生から1年を迎えようとする現在でも、復興はおろか復旧さえも進んでいない地域もあるなど、今回の大震災は東日本の広い範囲に大きな爪痕を残しています。これから取り組む都市・地域の復興においては、ハード面の都市計画だけでなく、人々の生活やコミュニティの再生などきめ細かな視点を含めた新しい都市計画が求められています。

中国四国地方においても、近い将来に発生すると予測されている東南海・南海地震への対応をはじめ、近年多発している土砂災害等の自然災害などへの対応など、住民の安全・安心を守ることは喫緊の課題となっています。このような時期に、東日本大震災への対応を教訓としつつ、都市計画のあり方について改めて考えることは、極めて時宜を得ていると考えます。そこで、日本都市計画学会中国四国支部（企画・研究委員会）では、『災害に強いまちづくり』をテーマとして都市計画研究会を開催するものです。

【会場の概略の位置図】



■会場：広島県情報プラザ / 第1研修室

■住所：広島市中区千田町三丁目7-47

※)概略の位置は左図をご参照下さい。

【問合せ・申し込み先】

……(社) 日本都市計画学会 中国四国支部 (都市計画研究会担当)

長谷山 弘志 (株荒谷建設コンサルタント内)

TEL : (082)292-5486 FAX : (082)296-5481

E-mail : hiroshi.haseyama@aratani.co.jp

【参加申込票】

…… 下記の項目を明記のうえ、Eメール又は FAX でお申し込みください!

お名前
所属

連絡先
ご住所

電話番号

E-mail